

パイプフレームと耐候性シートのシンプルな構造 使いやすさとコストパフォーマンスを兼ね備えた簡易ガレージ

ひとりで開閉可能なシンプル構造

昭和40年に日本で初めて折りたたみ式ポータブルガレージを開発し、製造と販売をはじめた合同産業。半世紀近くにわたり形状や素材に改良を重ね、使い勝手や耐久性を進化させてきた簡易ガレージのベーシックスタイルです。

ガレージの地面中央にあるメインフレームに繋がる3本の可動可能な中空フレームを、斜めに起こしたり、倒したりしながら開閉する構造。90°開けたところで内側からフックをかければ中空フレームを固定でき、車を出し入れ出来るようになります。



強風にも耐えられる固定方法

ガレージのメインフレームは6本のアンカーで固定しつつ、メインフレームと直結されている車重固定板を車の4輪で押さえる構造。車をガレージ内に入れた状態でガレージを閉じていれば、かなりの強風にも耐えられる仕様になっています。

また地面の地質に合わせたアンカーが用意されているため、アスファルト、コンクリート、ジャリ、土など、さまざまな地質に設置が可能です。

貸し駐車場にも設置可能

駐車スペースに設置出来るため、自宅の駐車場はもちろん、貸し駐車場にも設置（貸主/管理者の許可が必要です）が可能です。引っ越しが多い方は愛車と共にガレージまで引っ越しできるという点もメリットのひとつです。

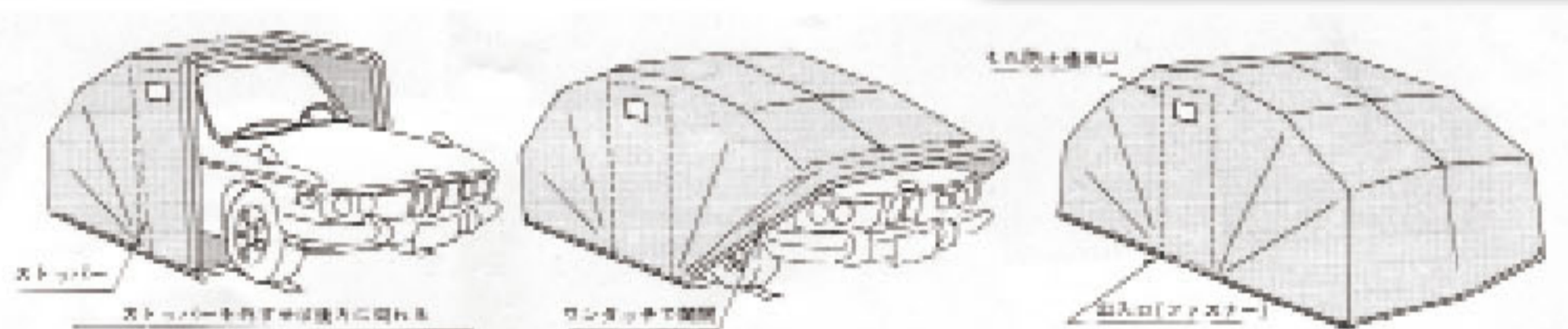
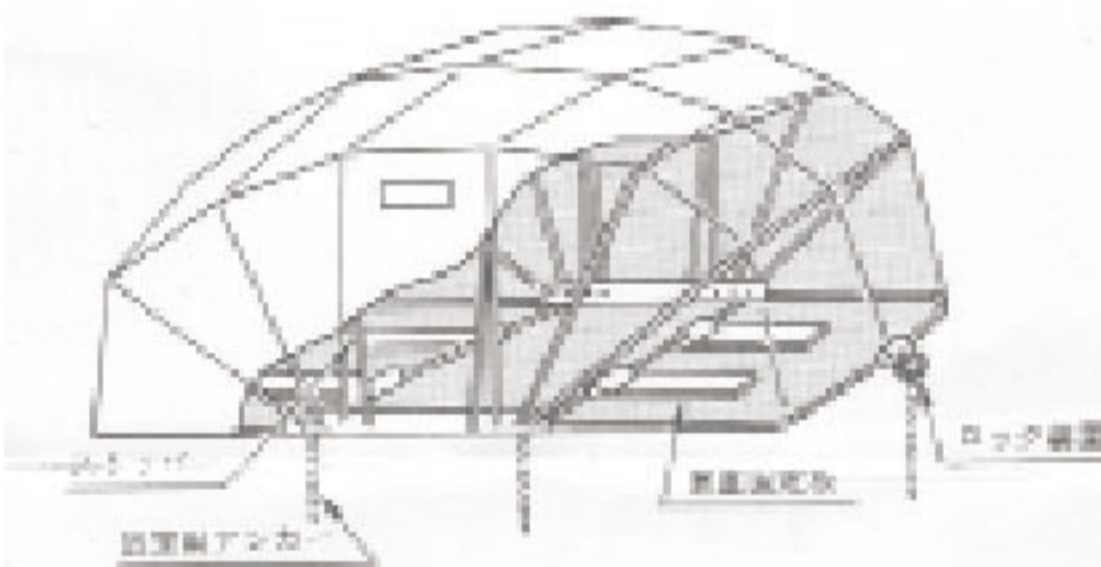
また組み立てはパイプを差し込んでネジを締める程度の簡単な作業のため、2時間程度で組み立て、取り外しが出来ます。関東圏内であれば、ガレージの設置、補修、メンテナンスの出張が可能です（有料）。



防犯対策と内外装の劣化を予防

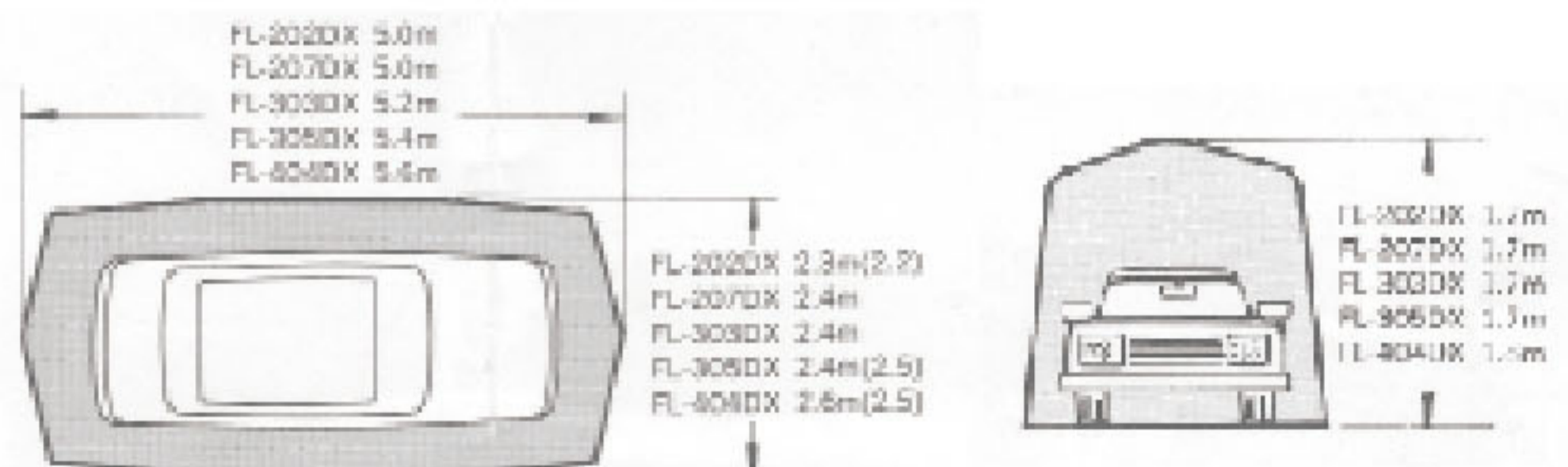
ポータブルガレージはシートで愛車を包み込むため、ガレージを開けなければ中の車両をうかがい知ることはできません。最近では防犯対策としてポータブルガレージを利用するケースも多く、カーポート内や屋根付き駐車場内に設置する例もあります。またガレージ入口のフックに南京錠を取り付ければ、車上荒らしの防止にもより一層の効果を発揮します。

またガレージ内に車を入れている際は直射日光が当たらないため、塗装面はもちろん内装の劣化も予防できます。使用状況や保管状況にもよりますが、下取りの査定額が相場より良かった事例も報告されています。



ポータブルガレージのサイズは5種類

ガレージのサイズは長さや幅、高さが違う5種類を用意。車両のサイズや駐車スペースに合わせて選べます。またすべての構成パーツを自社生産しているため、どの部品でも補修パーツを用意できます。



●仕様および外観や素材は、改良のために予告なく変更されることがあります。 ●簡易ガレージとして販売しておりますので、お車の保証はしておりません。